

**ごあいさつ**

このたびは、ヤマハPORTABLE PA SYSTEM STAGEPAS 300 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。STAGEPAS 300は、2台のスピーカーとミキサーで構成されたPAシステムです。STAGEPAS 300のさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

**特長**

- **2way 8インチ(20cm)スピーカー**  
コンパクトながら高品位でワウフルなサウンドを実現できます。外側に強いボディで屋外でも安心して使用できます。
- **パワードミキサー**  
イコライザーやリバーブ機能まで内蔵したオールインワンのパワードミキサー。4モノ+2ステレオ入力に対応しています。多彩な楽器や音響機器を接続できます。
- **コンパクト収納**  
ミキサーを1台のスピーカーに収納できるので、小さいスペースで屋内でも屋外でも対応できます。もう1台のスピーカーには、スピーカーケーブルやマイクを収納できるので、持ち運びや置き場所にも困りません。

**安全上のご注意**

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ **記号表示について**  
この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意警報を示します。
	「しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

- **「警告」と「注意」について**  
以下、誤った取り扱いをすることで生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

<b>警告</b>	「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
<b>注意</b>	「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

**電源/電源コード**

- 電源は必ず交流100Vを使用する。
- 電源コードは、必ず付属のものを使用する。
- 電源コードをストーブなどの熱源品に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをかけない。

**接続**

- 接地接続を確実に実行する。

**分解禁止**

- この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

**水に注意**

- この機器の上へ花露水や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿度の多いところで使用しない。

**異常に気づいたら**

- 電源コードやプラグがいたんだ場合、または使用中に音が出なくなったり異常なにおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

**注意**

- 電源/電源コード
- 長期使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って、必ず電源プラグを持って引き抜く。

**設置**

- スタンドを使用する場合は、以下の点に注意する。

- 風通しの悪いところに押し込めない。
- この機器を電源コンセントの近くに設置する。
- スピーカーを吊り下げるためにスピーカーのハンドルを使用しない。
- 直射日光のある場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなること、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや塵埃の多いところを使用しない。
- 直射日光のある場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなること、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや塵埃の多いところを使用しない。
- 不安定な場所に置かない。
- このミキサーの通風孔をふさがない。
- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話などの電気用品近くで使用しない。

**接続**

- 付属のスピーカーや他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で実行する。
- スピーカーの接続には、付属のスピーカーケーブルを使用する。

**使用時の注意**

- スピーカーの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にこの機器の電源を切る。
- この機器の通風孔、バスレフポート(前面の穴)、パネルのすき間に手や指を入れない。
- この機器の通風孔、バスレフポート(前面の穴)、パネルのすき間から金属や紙片などの異物を取れない。
- 大きな音量で長時間スピーカーを使用しない。
- 音が音だ状態ではこの機器を使用しない。
- この機器の上ののりついたり重いものをのせたりしない。
- この機器の電源を入れたまま、電源スイッチを切らない。

XLタイプ3スピーカー(中心)の接続は、以下のとおりです。

携帯電話からの影響について

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしません。

使用後は、必ず電源スイッチを切ります。

この取扱説明書に記載されている会社名、製品名、それぞれ売付の商標または登録商標です。

**パッケージの内容 (お確かめください)**

スピーカー2台、ミキサー1台、パネル1枚、電源ケーブル、スピーカーケーブル2本、取扱説明書(本紙)、保証書

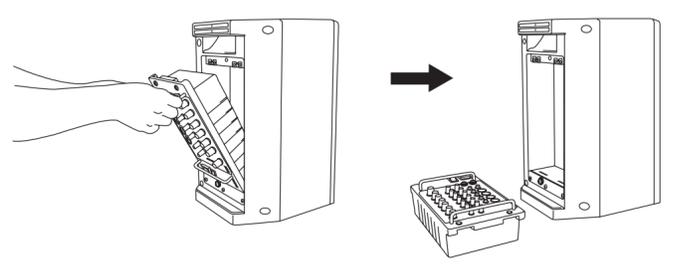
NOTE: 工場出荷時には、ミキサーとパネルはスピーカーに取り付けられています。

**ご使用前の準備**

- 1. ミキサーの電源が切れていることを確認します。
- 2. コインなどを使って、ミキサーの固定ネジをLOCKからOPENの方向に「カチッ」と音がするまで回します。



- 3. ミキサーのハンドルを持ってスピーカーからミキサーを取り外します。



- 1. ミキサーのハンドルは、ミキサーをスピーカーから取り外すときと、ミキサーだけを持ち運ぶときに使用してください。

NOTE: ミキサーをスピーカーに取り付けたままでもご使用いただけます。

ミキサーを取り付けるときは、スピーカーの溝とミキサーの凸部を合わせてミキサーをしっかりとめ込んだあと、固定ネジをOPENからLOCKの方向に「カチッ」と音がするまで回します。

**電源の準備**

- 1. POWERスイッチが「OFF」になっていることを確認します。
- 2. [AC IN]端子に付属の電源コードを接続します。

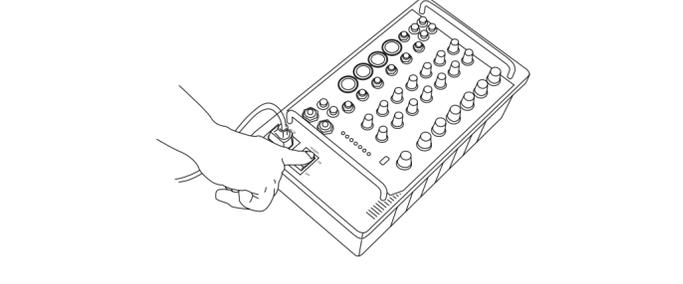


- 3. 電源コンセント(AC100V)にプラグを差し込みます。

**電源を入れる/切る**

- スピーカーから大きなノイズが発生しないようにするため、音源に近い機器から順に電源を入れてください。
- 電源を入れる前に、LEVELコントロール、MASTER LEVELコントロールを「0」にしておいてください。
- 付属のスピーカーや他の機器と接続する場合は、必ずすべての電源を切った上で行ってください。

POWERスイッチを「ON」側に押すと、電源が入ります。POWERインジケータが点灯します。電源を切るには、POWERスイッチを「OFF」側に押します。POWERインジケータが消灯します。



**困ったときは? (故障かな?と思ったら)**

**電源が入らない**

- 付属の電源コードが電源コンセントに正しく接続されていますか?
- 突然、電源が切れた
- 大音量で長時間使用していませんか?
- ミキサー内部の熱が下がらないうちに電源を入れてください。
- また、LIMITERインジケータが一瞬点灯するレベル以下に、MASTER LEVELコントロールで音量を下げてください。
- ミキサーのパネル上の通風孔をふさいでいませんか?
- 放熱が不十分なためミキサーに熱がこもると、保護回路が動作して電源が切れます。

**音が出ない**

- 外部機器(マイクを含む)やスピーカーは、正しく接続されていますか?
- 各チャンネルのLEVELコントロールやMASTER LEVELコントロールなどは、適切に調節されていますか?
- SPEAKER L/R端子には、付属のスピーカーを接続していますか?
- 付属のスピーカーケーブルを使用していますか?
- 付属のスピーカーケーブルのコネクタが、ミキサーのハンドルなど金属部分と接触すると、回線がショートして音が出なくなることがあります。
- 必ず付属のスピーカーケーブルをお使いください。
- POWERインジケータが点滅していませんか?
- スピーカーケーブルがショートしている場合があります。
- それでも音が出ない場合は、取扱説明書(本紙)に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

**音が途切れる**

- 大音量で使用していませんか?
- 許容レベルを超えた音量で使用すると、保護回路が停止と自動復帰を繰り返すため、音が途切れることがあります。
- LIMITERインジケータが一瞬点灯するレベル以下に、MASTER LEVELコントロールで音量を下げてください。

**音が歪んだり、雑音が入る**

- 各チャンネルのLEVELコントロールやMASTER LEVELコントロールは、上がりすぎていませんか?
- 各チャンネルのMIC/LINEスイッチは適切に設定されていますか?
- チャンネル(1から4)のXLRタイプとフォーンタイプの端子に両方接続していませんか?
- どちらか一方の端子だけをご使用ください。
- ミキサーに接続した機器からの入力信号のレベルは適切ですか?

**音が小さい**

- 各チャンネルのLEVELコントロールやMASTER LEVELコントロールなどは、適切に調節されていますか?
- 各チャンネルのMIC/LINEスイッチは適切に設定されていますか?
- チャンネル(1から4)のXLRタイプとフォーンタイプの端子に両方接続していませんか?
- どちらか一方の端子だけをご使用ください。
- ミキサーに接続した機器からの入力信号のレベルは適切ですか?

**リバーブがかからない**

- 各チャンネルのREVERBスイッチはON ( ) になっていますか?
- REVERBコントロールは適切に調節されていますか?

**音質を変えたい**

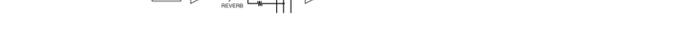
- イコライザー (HIGH/LOW)は、適切に調節されていますか?
- スピーカーからの音に迫力をつけたい場合は、SPEECH/MUSICスイッチをMUSIC ( ) の設定にしてください。
- スピーチの声をはっきりさせたい場合は、SPEECH/MUSICスイッチをSPEECH ( ) の設定にしてください。

**1台のスピーカーで使用したい**

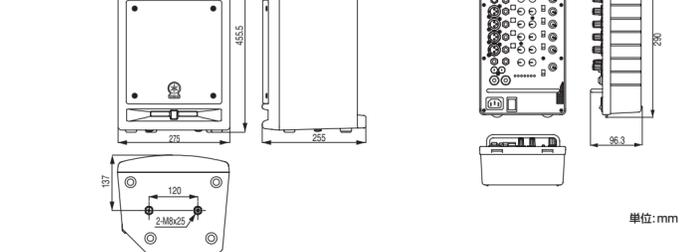
- 1台でも使用できます。1台の場合は、LまたはRの信号が出力されます。

**モニター用の信号を出力したい**

- MONITOR OUT端子にアンプ内蔵スピーカー(パワードスピーカー)を接続してください。
- MONITOR OUT端子は、MASTER LEVELコントロール調節前(プリフェーダー)の信号を出力します。
- MONITOR OUT端子の出力信号は、MONITOR OUTコントロールで調節してください。



**寸法図**



**仕様**

- 一般仕様
- 最大出力
- 周波数特性
- 全高調波歪率
- ハム&ノイズ
- クロストーク
- 質量
- 消費電力
- 入力チャンネルイコライザー特性
- 周波数特性
- 全高調波歪率
- ハム&ノイズ
- クロストーク
- 再生周波数帯域
- 最大出力音圧レベル

**保証とアフターサービス**

サービスのご依頼、お問い合わせの必要がございましたら、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

● **保証書**  
この製品には保証書が付属しています。販売店印、お買い上げ日などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● **保証期間**  
保証書は当社がお客様に保証期間中の無償サービスを約束するもので、この製品の保証期間はご購入日時から1年間です。詳しくは保証書をご確認ください。

● **保証期間中の修理**  
保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただく、サービスマンが出張修理に伺いするのは、製品ごとに定められています。詳しくは保証書をご確認ください。

● **保証期間経過後の修理**  
ご要望により有料にて修理させていただきます。下部の部品などについては、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

● **補修用性能部品の最低保有期間**  
製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

● **修理のご依頼**  
本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとおわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

● **損害に対する責任**  
この製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様が支払ったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

● **お客様ご相談窓口**  
アフターサービス以外で、製品に関するご質問、ご相談は、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

● **お客様ご相談窓口: ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口**  
ヤマハプロオーディオ・インフォメーションセンター  
Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-6663 (電話受付は検票日を除く月～金11:00～19:00)  
ONLINE support: http://proaudio.yamaha.co.jp/

● **営業窓口**  
国内営業本部 EKB・LLM営業部 営業推進室  
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL 03-5488-5430

PA事業部 マーケティング部 PAマーケティンググループ  
〒140-8568 静岡県浜松市中区中沢町10-1

● **ヤマハプロオーディオ ウェブサイト:**  
http://proaudio.yamaha.co.jp/  
ヤマハマニュアルライブラリ:  
http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/

C.S.G., Pro Audio Division  
©2004-2011 Yamaha Corporation  
110MW-F0 Printed in China

# STAGEPAS 300

## クイックガイド

### スピーカーから音を出す

付属のスピーカーを使って、音を出してみましょう。

### 1 ミキサーにスピーカーや楽器などを接続します

付属のスピーカーをSPEAKER L/R端子に接続してください。ギターや楽器などの外部機器を入力端子に接続します。接続例を参照してください。

他の機器(付属のスピーカーやマイクも含む)と接続する場合は、すべての機器の電源を切った状態で行ってください。スピーカーケーブルは必ず付属のケーブルをご使用ください。故障の原因になることがあります。また電源を入れたり切ったりするときは、必ずすべての機器の音量(ボリューム)を最小にしてください。

**NOTE:** エレキギターやエレキベースなどを接続する場合は、DI (ダイレクトボックス)、プリアンプ(ギターアンプ)、アンプシミュレーターなどを經由してミキサーに接続することをおすすめします。

### 2 ミキサーのLEVELコントロール、MASTER LEVELコントロールを“0”にします



### 3 接続したチャンネルのMIC/LINEスイッチをMIC (■) または LINE (■) に設定します

マイクなどのレベルが低い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをMIC (■) にします。キーボードやオーディオ機器などのレベルが高い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをLINE (■) にします。



### 4 電源を入れます

接続した外部機器の電源をすべてONにしたあと、STAGEPAS 300のミキサーの電源をONにします。アンプ内蔵スピーカー(パワードスピーカー)を接続している場合は、ミキサーの後に電源をONにします。



スピーカーから大きなノイズが発生しないようにするため、音源に近い機器から順に電源を入れてください。

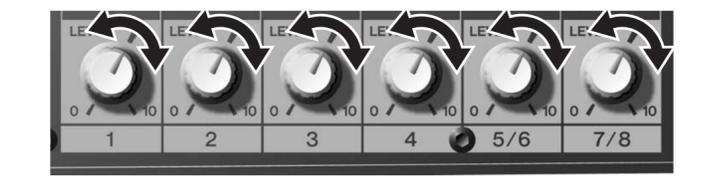
例: 音源(外部機器) → STAGEPAS 300 → (パワードスピーカー) 電源をOFFにするときは、上記の逆の順序になります。

### 5 MASTER LEVELコントロールを“0”に合わせます



### 6 楽器やマイクで音を出しながら、各チャンネルのLEVELコントロールを調節します

LEVELメーターの“0”がときどき点灯するように、音が入力されているチャンネルのLEVELコントロールを調節します。



### 7 MASTER LEVELコントロールで全体の音量を調節します

LIMITERインジケーターが長く点灯し続けると、内蔵アンプやスピーカーを破損する原因となりますのでご注意ください。



### リバーブ(残響音/エコー)をかける

コンサートホールやライブハウスで演奏しているような臨場感を得ることができます。

### 1 リバーブをかけたいチャンネルのREVERBスイッチを押してON (■) にします



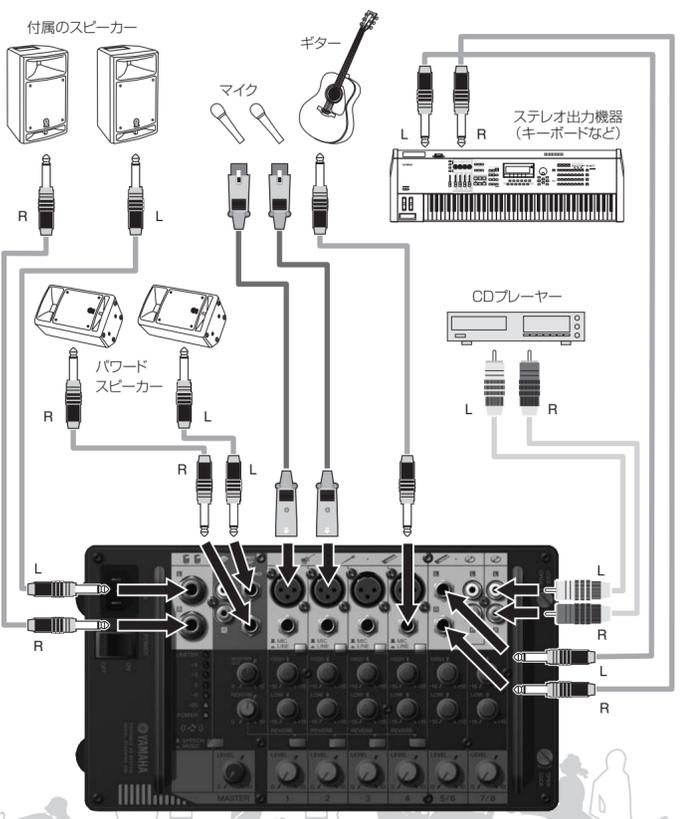
### 2 REVERBコントロールで全体のリバーブのかけ具合を調節します



## 接続例

軽量かつパワフルなSTAGEPAS 300は、室内でのバンド演奏はもちろんストリートライブにも対応できます。マイクやギターなどのモノラル入力は、チャンネル1から4に接続、キーボードなどのステレオ入力は、チャンネル5/6または7/8に接続。アンプ内蔵スピーカーがあれば、MONITOR OUT端子に接続してボーカル用のモニターに使用。バンド演奏中は、SPEECH/MUSICスイッチをMUSICにすると、迫力あるサウンドが得られます。

**NOTE:** エレキギターやエレキベースなどを接続する場合は、DI(ダイレクトボックス)、プリアンプ(ギターアンプ)、アンプシミュレーターなどを經由してミキサーに接続することをおすすめします。



## 各部の名称と機能

**1 AC IN端子**  
付属の電源コードを接続します。  
**!** 電源コードは付属のものをご使用ください。それ以外のものを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になることがあります。

**2 POWERスイッチ**  
電源のON/OFFを切り替えるスイッチです。

**16 LEVELメーター**  
SPEAKER L/R端子から出力される信号のレベルを表示します。  
**!** LIMITERインジケーターが長い間点灯すると、内蔵のプリアンプに過大な負荷がかかり、故障の原因になります。信号の最大入力時に瞬点灯するレベル以下に、MASTER LEVELコントロールで信号のレベルを下げてください。

**17 POWERインジケーター**  
POWERスイッチをONにすると点灯します。POWERインジケーターが点滅している場合は、保護回路が作動しています。スピーカーケーブルが正しく接続されているか確認したあと、再度電源を入れ直してください。

**15 MONITOR OUT コントロール**  
MONITOR OUT端子から出力される信号を調節します。  
**NOTE:** MASTER LEVELコントロールの影響を受けません。

**14 SPEECH/MUSICスイッチ**  
SPEECH/MUSICスイッチをSPEECH (■) にすると、ナレーションなどのスピーチに適した音質になります。SPEECH/MUSICスイッチをMUSIC (■) にすると、楽器演奏やライブなどに適した音質になります。MUSIC (■) にすると、SPEECH/MUSICスイッチが、黄色に点灯します。

**3 SPEAKER L/R端子 (付属のスピーカー用)**  
チャンネル1から7/8の信号がミックスされて出力されます。出力レベルは、MASTER LEVELコントロールで調節します。  
付属のスピーカーのみを付属のスピーカーケーブルで、必ず電源を切った状態で接続してください。故障の原因になることがあります。

**4 REC OUT L/R 端子**  
チャンネル1から7/8のミックスされた信号が、MASTER LEVELコントロールに関係なく出力されます。外部のレコーダーなどを接続します。

**5 MONITOR OUT L(MONO)/R 端子**  
チャンネル1から7/8のミックスされた信号が、MONITOR OUTコントロールでレベル調整されて出力されます。外部のモニター用アンプ内蔵スピーカーなどを接続します。

**12 LEVELコントロール**  
各チャンネルの音量バランスを調節します。  
**!** ノイズを減らすために、使用しないチャンネルのLEVELコントロールは最小“0”にしてください。

**13 MASTER LEVELコントロール**  
SPEAKER L/R端子から出力される音量を調節します。LEVELコントロールやEQ (イコライザー) で調節した音色や、各チャンネルの音量バランスを変化させることなく全体の音量だけを調節します。

**6 チャンネル入力端子 (CH 1から4)**  
ギター、マイク、キーボードなどを接続します。マイクなどのレベルが低い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをMIC (■) にします。キーボードやオーディオ機器などのレベルが高い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをLINE (■) にします。  
**NOTE:** 一つのチャンネルでフォーン端子とXLR端子を同時に使用することはできません。どちらか一方の端子だけをご使用ください。

**7 ステレオチャンネル入力端子 (CH 5/6、7/8)**  
ステレオ信号をL/Rにを入力します。シンセサイザーやCDプレーヤーなどステレオ信号で出力される機器を接続します。  
**NOTE:** 一つのステレオチャンネルでフォーン端子とRCAピン端子を同時に使用することはできません。どちらか一方の端子だけをご使用ください。

**8 MIC/LINEスイッチ**  
チャンネル1から4の入力信号のレベルに応じて切り替えます。マイクなどのレベルが低い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをMIC (■) にします。キーボードやオーディオ機器などのレベルが高い入力信号を接続したチャンネルは、MIC/LINEスイッチをLINE (■) にします。

**9 EQ (イコライザー)**  
HIGH 各チャンネルの高音を調節します。右に回すと高音が強調されて、はっきりしたハキレのいいサウンドになります。「キーン」とハウリングする場合は、少し左に回して高音を抑えます。  
LOW 各チャンネルの低音を調節します。右に回すと低音が強調されて、響きの深いサウンドになります。「ボン」とハウリングする場合や音がこもる場合は、少し左に回して低音を抑えます。

**10 REVERBスイッチ**  
コンサートホールやライブハウスで演奏しているようなリバーブ(残響音/エコー)をかけたい場合は、このREVERBスイッチをON (■) にします。ONにすると、REVERBスイッチが緑色に点灯します。

**11 REVERBコントロール**  
全体のリバーブ(残響音/エコー)のかけ具合を調節します。リバーブをかけすぎると音がぼやけたり、ハウリングしやすくなりますので、少し抑えて設定します。

**これは便利!**

付属の電源ケーブル、スピーカーケーブル、取扱説明書(本紙)、マイク(別売)をスピーカーに収納できます。スピーカーのパネルを取り外して、必要なものをコンパクトに収納しましょう。STAGEPAS 300さえあれば、いつでもどこでもライブステージに変わります。